



廃飼料の県外搬出が始まる

付近の工場から雲雀野ヤードに持ち込まれた廃飼料(家畜のエサ)の県外搬出が始まりました。
青森県の八戸セメント㈱にてセメントの原燃料として再利用されるもので、同じく受け入れが予定されている住友大阪セメント㈱柘木工場分と合わせると、約48,000m³の廃飼料が県外処理されることとなります。
5月からは破碎分別設備・焼却炉等の中間処理施設が稼動する予定ですが、一刻も早いがれき処理のためには広域処理の実現が欠かせません。



フレコンバック詰めされた廃棄物は既に160,000袋にも達しています



マスコミが注目する中、ダンブに積み込まれる廃飼料

東日本大震災から1年・・・



がれきのお祓いの模様



2次仮置場から日和山への避難訓練

昨年3月11日に発生した東日本大震災から1年が経ちました。津波の被害を受けた沿岸部の瓦礫はほほ片付けられ、一步内陸部に足を踏み入れると震災前の生活に戻ったかのような錯覚さえ覚えますが、まだまだ復興への道のりは長く、我々の業務を一刻も早く終らせなければならないことを改めて認識させられます。
そんな中、3月11日を目前にした8日に、鹿嶋御児神社の窪木権禰宜に雲雀野の二次集積所にお越しいただき、中間処理施設の設置予定地に山積みされているがれきのお祓いをしていただきました。
また翌9日には、大震災に伴う津波を想定した避難訓練を行い、JV職員・協力会社の職長が実際に日和山の避難場所まで歩いて、避難にかかる時間や集場所を確認しました。

はたらく機械シリーズ ③



アーティキュレートッドダンブトラック
雲雀野ヤード内の津波堆積物や混合廃棄物を効率よく運搬するために導入しているこの車両は、一度に30t以上の物を運ぶことができます。
安全を確保するために、ヤード内には専用の走路が造られています。

交通安全及び暴力団排除を宣言しました



4月2日に開催しました安全大会に、宮城県警暴力団対策課長、石巻警察署長、河北警察署長をお招きして、JVから交通安全の遵守及び暴力団の排除を宣言いたしました。
宣言文は職長会佐々木会長が読み上げた後、石巻警察署後藤署長様に手渡されました。



事務所横の仮囲いには、交通安全と暴力団排除の標語が掲示されました。

- 4月の予定—
- 4/2 交通安全・暴排宣言 安全大会
 - 4/3 Bヤード安全大会
 - 鹿児島県視察
 - 4/4 福岡県北九州市視察
 - 茨城県古河市視察
 - 4/10 鹿島東北支店安全パトロール
 - 4/24 鹿島東北支店安全パトロール
 - 4/26 暴排・災害防止協議会

①出身地 ②主な職歴 ③趣味・特技 ④抱負

JV職員紹介



工事担当 目時 浩二



課長 牛木 裕



副所長 高野 浩司

①愛媛県
②高速道路2年
トンネル4年 造成1年
③久しぶりに始めたゴルフ (目指せ90台！)
④石巻の復興に全力をつくしたいと思います。

①青森県
②産業廃棄物処理業務に16年
液波の牡蠣小屋は最高
③食べ歩き
④廃棄物処理の経験とネットワークを活かして広域処理の実現に取組みます。

①秋田県湯沢市
小野小町発祥の地
②入社以来ほとんど現場勤務
トンネル12現場
東北新幹線6現場
宅地造成他多数
③ドライブ (年間4万キロ)
④本籍を宮城県に変えたこともあり、宮城の復興に少しでも貢献したいと思っています。